

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	3 広聴機能の充実	② 施策番号	1102
③ まちづくりの方向〔政策（章）〕	6 みんなでまちづくりに取り組むまち		
④ 基本施策〔施策大（節）〕	2 市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 広聴・広報活動の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合政策部	秘書広報課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	全市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	多くの市民の意見を市政に反映させることにより、市民の考える市政運営を行う。
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	市政運営での市民参画は必要不可欠であり、国や府においても民活力の導入は積極的に取り入れることにより、経費の削減や新たな発想が期待される。今後もより多くの市民参画、協働が推進されていく。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	計算式	件	市民が自主的に市政に関連する要望等を提案することで、市政運営の参考とし、多くの方々の市政参画が図られる。
②	計算式		
③	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	要望件数	件	目標値	400	400	500	500	600	
			実績値	377	538	574	—	—	
			達成率	94.3%	134.5%	114.8%			
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	広聴事業	要望件数	件	538	574	600	4,719	4,493	4,502	A	ア	○
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						4,719	4,493	4,502			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	市民の考える市政を取り入れる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	より多くの要望・意見を取り入れることにより、市民の期待する市政運営を行う。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市民が市政に関心を持つことや、市の支援は適切である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	市民が市政に関心を持ち、市政運営に貢献することから適切である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	市民が自主的に市政参画を期待するもので、意見聴取は重点化である。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	要望や意見を市政に反映させること。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	要望や意見の市政反映。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	要望や意見の市政反映への成果検証。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	要望や意見の市政反映への成果検証。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	施策指標は目標値を上回り適切に取組が実施されている。 広聴機能の充実により市民の要望や意見が適切に市政に反映されるよう、継続して取組を進められたい。	